

20 したから、肉をとって逃^にげてしまった。もうだめだ！ そ
 21 うすると、さっさと釣^つり竿^{ざお}¹を片^{かた}付けて、服の中に肉を入れ
 22 たま^ま家²に帰ってしまった。

Vraag

1. Waarom heeft de arme man het stuk vlees met een steen ver-
vangen?

え ど こばなし 江戸の小話 (その四)

1 昔々^{むかし}、ニンジンとごぼう^{だいこん}と大根は、同じ色をしていた。
 2 ある日、ニンジンとごぼうと大根^{だいこん}が、お風呂^{ふろ}に入ることに
 3 なった。
 4 「俺^{おれ}³がいちばんだ!!」慌^{あわ}てん坊^{ぼう}⁴のニンジンは、いちばん
 5 先にお風呂に飛び込んだ。そうしたら、お風呂^{ふろ}がとても熱
 6 かったが、ニンジンは、真^まっ赤^かな顔^がで我慢^{まん}しながら、熱い
 7 お風呂^{ふろ}に入った。それでニンジン^{だいこん}の色は、赤くなったの
 8 だ。
 9 次^{つぎ}⁵に入ったの⁶が、ごぼうだ。「熱いお風呂^{ふろ}だなあ」ごぼ
 10 うは熱いのが嫌^{きら}いだから、体も洗^{あら}わないで、お風呂^{ふろ}から出
 11 て行った。それでごぼうの体は、黒い色をしているのだ。
 12 最後に^{だいこん}入ったのは、大根だ。「ちょうどいい湯^ゆ加減^{かへん}⁷だ」大
 13 根^{こん}は最後に^{ふろ}入ったから、熱いお風呂^ゆのお湯もちょうどいい

¹'hengel'

²ま ま geeft een onveranderde toestand aan

³'ik'

⁴'kliswortel'

⁵'volgende' (vgl. つぐ 'opvolgen')

⁶Hier: 'degene die ...

⁷'hoe warm het water is'